

「保管」のお困り事解決に力

自社HPで具体事例 週1回発信

工場・倉庫で材料や製品を保管する棚（ラック）の製造を展開するゴリキ（本社伊勢市大湊町1-25の10、強力雄社長、電話0596・36・2104）は、自社ホームページ（HP）で、保管に関するお困り事の解決事例を週1回ペースで更新して、新規受注につなげている。保管する製品や材料、何に困り、どう解決したかを具体的に紹介することでページビューの数を伸ばしている。HPだけで毎月40件近くの新規の引き合いを獲得している。

（三重・片桐芳樹）

月40件の新規引き合い獲得

同社は、バーラック「ピッカー」（製品名）を中心に、長尺重量物から軽重量物まで保管に関連する製品をオーダーメイドで製造している。顧客のニーズに合わせて、サイズや強度などを柔軟に対応し、物流の効率化に貢献してきた。住宅関連やホームセンターはじめ、製造業では自動車、機械、製鋼、航空機、食品など幅広い業種で採用されている。

自社HPでの発信は7年前から始めた。現在、困り事の解決事例は360件まで増えている。保管する材料の種類、サイズなど具体的なワードや数字を入れることで、実際に困っている人がネット上で見つけやすく工夫している。

最近の解決事例では、床一面に保管していた布製の巻物をバーラックで多段保管することで面積効率を高

めたり、丸パイプが転がらないラックを製造したり、積み重ねて保管していた木材を長さ別に置けるバーラックに積むことで作業効率の大幅向上につなげたケースを紹介している。

同社のラックは、かつて造船業を手掛けていた時の溶接技術を生かして付け根に鋳物を採用しており、高い強度が特長。長さ2倍を超えるアーム（棚部分）のラ

ックを製造したこともある。このほか、屋根付きや移動式など、ニーズに合わせて多様なラックに対応する。物流技術管理士でもある

齋藤和哉常務は「ただ物が収納できるだけでなく、お客さま一人一人に寄り添った商品をこれからも提供していきたい」と話している。

ゴリキ



自社工場で使用しているキリンをデザインしたバーラック

